

平成20年度  
学校評価（報告）

学校評価

- 1 学校評価の目的
- 2 基本方針と本年度目標
- 3 学校評価の方法と留意点
- 4 評価委員会

1. 学校自己評価	.....	1
(1) 学校自己アンケート評価		
(2) 生徒アンケート 保護者アンケート 教職員アンケート		
2. アンケート結果、まとめ	.....	4
(1) 生徒		
(2) 保護者		
(3) 教職員		
3. 生徒・保護者のアンケートの各分掌関係の評価	....	4
(1) アンケート相互関係		
4. 学校評価の現状と課題	.....	5
(1) 教育活動の総括		
(2) 成果と課題		
5. 平成20年度学校アンケートによる、まとめと今後の課題	....	6
6. 平成20年度 学校評価総論		
7. 次年度に向けて		

## 1. 学校評価の目的

本校の教育活動全般にわたり、実施状況を総合的かつ客観的に点検・評価し、成果と課題を明らかにする。また、教職員の共通理解を深め、教育活動の改善や次期の教育活動計画へ生かすとともに、保護者への説明責任を果たし、開かれた学校づくりを進めることを目的とする。さらに、設置者へ報告し教育の質の向上を図る。

## 2. 基本方針と本年度目標

本校建学の理念「世に役立つ人物の養成」を目指し、校訓とする「誠実」で「不撓不屈の精神を」有した人物を育成する。また「自学」「自立」「勤労」を指導目標の3本柱として教育を実践する

- (1) 各コースのカリキュラムを見直し、より効率的な指導を目指し進路実績を向上させる。
- (2) 地域に定着し地域の住民から愛される学校づくりに努める。

## 3. 学校評価の方法と留意点

- (1) 学校評価のフォームを作成し、その項目に沿って i. 教員アンケート、ii. 生徒アンケート、iii. 保護者アンケート用紙を作成して集計を行う。
- (2) 評価項目は、各分掌に関する評価項目とし、数値で表し、成果と課題を付記する。
- (3) 評価の対象は、教育活動全般と学校運営の状況。
- (4) 評価項目の設定
  - ①基本方針を踏まえ、評価項目を設定。
  - ②評価項目（学習指導・生徒指導・進路指導・教育活動推進・教務活動）
  - ③改善すべき課題を明確にし、重点的な評価項目を設定し自己評価を行う。
- (5) 目標の数値化  
客観性と達成度の確認等の観点から可能な限り数値化をする。

## 4. 評価委員会

- (1) メンバー（7名）教頭・教務主任・教務部長・生徒指導部長  
進路部長・教育活動推進部長・特進コース委員長
- (2) 実施内容
  - ①学校自己評価アンケートの作成  
（教員・生徒・保護）
  - ②アンケート評価結果の集計・分析
  - ③評価結果の公表資料作成
  - ④次年度改善策の策定

以 上

1 学校自己評価

(1) 学校自己アンケート評価 (生徒・保護者・教職員)

No. 1

平成20年度 大阪商業大学堺高等学校 学校自己評価								
教育方針	本校建学の理念「世に役立つ人物の養成」を目指し、校訓とする「誠実」で「不撓不屈の精神を」有した人物を育成する。また「自学」「自立」「勤労」を指導目標の3本柱として教育を実践する							
本年度目標	1. 各コースのカリキュラムを見直し、より効率的な指導を目指し進路実績を向上させる。 2. 地域に定着し地域の住民から愛される学校づくりに努める。							
アンケート集計 ①=A ②=B ③=C ④=D								
領域	評価の観点	評価項目	評価	生徒	保者	教職	総評	成果と課題
学校運営	私学の独自性	1. 建学の精神について 生① 保① 教①	A	17.7	25.8	18.3	B	建学の精神の「誠実」については保護者の評価は高いが、生徒・教職員の評価は、約半数のほぼ等しい評価となっている。今後の課題。
			B	28.3	58.1	43.3		
			C	27.8	9.7	28.3		
			D	26.2	6.5	10.0		
	地域交流	2. 地域との連携 生 保⑨ 教	A	—	29.0	—	B	保護者の評価であるが、高い評価をされている。次年度はアンケートの対象を広げる。
			B	—	45.2	—		
			C	—	12.9	—		
			D	—	12.9	—		
	教務関係及び特進関係	3. 授業研究 生 保⑥ 教②	A	—	9.7	8.3	C	教職員・保護者の評価はほぼ等しく、特に教職員の意識は、教育効果を高める研究は、大きな課題であると認識されている。
			B	—	35.5	25.0		
			C	—	45.2	31.7		
			D	—	9.7	35.7		
		4. 授業への取り組みと授業展開 生② 保④ 教④	A	11.6	9.7	1.7	B	教職員は生徒の授業への取り組みが大きな課題と考え、生徒、保護者は授業展開について等しい評価となっている。
			B	39.8	51.6	35.0		
			C	30.1	32.3	48.3		
			D	18.5	6.5	15.0		
	5. 各コースの授業展開 生 保⑤ 教⑤	A	—	12.9	6.7	B	教職員・保護者の評価はほぼ等しく、各コースの目標にはおおむね評価されているが、進路実績としての評価は、次年度としたい。	
		B	—	45.2	51.7			
		C	—	25.8	35.0			
		D	—	16.1	6.7			
生徒指導	6. マナー指導について 生⑩ 保⑩ 教⑰	A	17.1	22.6	3.3	B	生徒はマナーについて問題意識を持ち、保護者の評価は高い。教職員評価は、相半ばするが、生徒の問題意識に鑑み指導強化が必要。	
		B	27.1	51.6	48.3			
		C	32.5	16.1	38.3			
		D	23.3	9.7	10.0			
	7. 校則に対する意識 生⑪ 保⑪ 教⑰	A	14.5	9.7	3.3	C	教職員は生徒の校則に対する意識が希薄であると感じている。保護者・生徒の意識は等しく、評価は相半ばする。	
		B	33.3	45.2	25.0			
		C	29.4	38.7	51.7			
		D	22.8	6.5	20.0			
進路指導	8. 進路情報の提供 生⑤ 保⑦ 教⑥	A	19.7	20.0	18.3	B	進路情報については教職員と保護者・生徒に認識に大きな開きがあり、今後の大きな課題である。特に生徒との認識に開きが大きい。	
		B	42.6	40.0	63.3			
		C	25.6	20.0	11.7			
		D	12.1	20.0	6.7			

進路指導	9. 外部実力テストの利用 生⑦ 保⑧ 教⑧	A	11.9	16.1	10.0	B	保護者はうまく利用していると評価は高い。生徒・教職員の見方は等しく利用について、課題が見られる。
		B	31.1	41.9	38.3		
		C	36.3	22.6	48.3		
		D	20.7	19.4	3.3		
	10. 授業以外の補習・講座体制 生⑨ 保⑨ 教⑨	A	16.3	19.4	23.3	B	
		B	32.5	32.3	55.0		
		C	33.3	38.7	13.3		
		D	17.9	9.7	8.3		
教育活動推進	11. ホームルーム活動（学校生活） 生⑱ 保⑮ 教⑬	A	34.8	33.3	15.0	B	保護者の学校生活全般にわたる評価は高く、教職員もほぼ見方は近い。生徒も7割強が楽しい雰囲気ので快適な学校生活を送っている。
		B	37.3	60.0	63.3		
		C	16.4	3.3	16.7		
		D	11.5	3.3	5.0		
	12. 学校行事 生⑲ 保⑲ 教⑩	A	25.2	46.7	35.0	B	
		B	40.2	46.7	45.0		
		C	19.0	6.7	18.3		
		D	15.6	0.0	1.7		
	13. 部活動の活性化 生⑳ 保⑳ 教⑪	A	32.7	51.7	30.0	B	
		B	39.1	34.5	45.0		
		C	16.5	10.3	25.0		
		D	11.7	3.4	0.0		
	14. 図書の充実 生㉑ 保 教	A	25.9	—	—	B	
		B	36.8	—	—		
		C	24.2	—	—		
		D	13.1	—	—		
教職員及び保護者の連携	15. 教職員の連携状況 生㉒ 保 教㉓	A	14.4	—	20.0	B	教職員・生徒の評価は等しく、連携状況のよりよい協力体制が望まれる。
		B	37.4	—	36.7		
		C	29.3	—	31.7		
		D	18.9	—	11.7		
	16. 学校と家庭の連携 生 保㉔ 教㉕	A	—	19.4	6.7	B	
		B	—	54.8	65.0		
		C	—	16.1	23.3		
		D	—	9.7	5.0		
健康管理	17. 定期健康診断の実施と予防 生㉖ 保 教	A	21.8	—	—	B	健康面での配慮はなされていると評価している。次年度はアンケート対象を広げたい。
		B	42.3	—	—		
		C	23.7	—	—		
		D	12.5	—	—		
	18. トイレ及び手洗い場の衛生 生㉗ 保 教	A	33.1	—	—	B	
		B	38.4	—	—		
		C	17.1	—	—		
		D	11.4	—	—		

	施設・設備	19. 施設・設備の充実 生⑯ 保⑯ 教⑭	A	18.9	22.6	3.3	B	教職員の評価と生徒・保護者の評価が割れている。評価の観点を精査し、詳細なアンケート評価が必要であると思われる。
			B	36.0	45.2	35.0		
			C	25.6	19.4	35.0		
			D	19.5	12.9	26.7		
		20. 清掃環境 生⑰ 保⑰ 教⑱	A	32.9	45.2	28.3	B	
			B	35.9	45.2	40.0		
			C	19.9	6.5	18.3		
			D	11.3	3.2	13.3		
委員会	人権教育推進委員会	20. 人権教育 生⑲ 保⑲ 教⑳	A	16.7	19.4	6.7	B	保護者の評価は少し高いが、生徒・教職員はほぼ等しい評価である。人権意識については、次年度の課題である。
			B	32.4	41.9	43.3		
			C	27.7	29.0	33.3		
			D	23.3	9.7	16.7		
	総合学習委員会	21. 進路学習 生⑸ 保 教	A	15.9	—	—	B	
			B	37.9	—	—		
			C	29.7	—	—		
			D	16.5	—	—		
その他	入学満足度	22. 入学について 生 保㉑ 教㉑	A	—	60.0	6.7	B	保護者は入学させてよかったと思われる評価大きい。教職員とは少し異なるが、満足度は高い。
			B	—	30.0	65.0		
			C	—	6.7	23.3		
			D	—	3.3	5.0		
	生徒と教職員関係	23. 相談について 生 保㉒ 教㉒	A	—	61.3	33.3	B	
			B	—	35.5	60.0		
			C	—	3.2	5.0		
			D	—	0.0	1.7		

## 2. アンケート結果（まとめ）

	生徒	保護者	教職員
良い評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学してよかった</li> <li>先生の面倒見がよい</li> <li>学校行事が楽しい</li> <li>学校の雰囲気良く楽しい</li> <li>部活動が活発である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学させてよかった</li> <li>先生と生徒の関係がよい</li> <li>部活動が活発</li> <li>学校行事は楽しく協力</li> <li>清掃がなされていてよい環境</li> <li>教育全般に信頼されている。</li> <li>家庭と学校との協力体制がなされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の入学満足度</li> <li>学校行事は楽しく充実</li> <li>生徒の相談によく応じている</li> <li>部活動が活発</li> <li>清掃がなされていてよい環境</li> <li>学校と家庭との連携、進路、学校行事、生徒の相談、家庭連絡等について評価が高い。</li> </ul>
厳しい評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>誠実な行動</li> <li>外部テストの利用</li> <li>マナーと挨拶</li> <li>校則マナーについて、生徒の自己評価は厳しいものになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材や教え方に工夫</li> <li>校則や社会のルール</li> <li>補講、講座を充実・学習指導や進路情報、校則については見えにくい部分もあるようである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の授業の取り組み</li> <li>教育施設は充実について</li> <li>生徒は校則について理解</li> <li>外部テストの利用</li> <li>教員の研修（効果ある）を望んでいる</li> <li>施設のより充実したものを望んでいる</li> <li>生徒の授業状況や校則について厳しい考えを持っている。</li> </ul>

## 3. 生徒・保護者のアンケートの各分掌関係の評価

	生徒指導	進路指導	教育推進	教務・授業
生徒アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒はマナー挨拶等についての問題意識を持っている。</li> <li>校則は妥当でないものもあるという意識が伺われる。</li> <li>指導のあり方について課題が大きいと考えられる。</li> <li>建学の精神も理解と実践という点が課題と思っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路に関する情報とアドバイスについて、教員との相違が大きい。また、補習体制や、進学講座についても不十分だと評価している。</li> <li>外部テストの利用についても十分だとは感じていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事等は楽しく、クラスでの学校生活についても満足している高い評価が出ている。</li> <li>部活動においても活発に活動していると思っている。</li> <li>図書室については一定の評価をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組みと授業展開については半数の生徒が厳しい評価をしているが、自分に対する評価についてはほぼ正しいと評価している。</li> </ul>
保護者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶やマナーについての評価は高い。</li> <li>校則や社会のルールについては、一定の評価をされているが問題意識をもたれている方も多。</li> <li>家庭と学校の連携、協力体制の評価は高い。</li> <li>建学の精神の誠実に生きる指導には高い評価をされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路に関する情報は適切に提供され、外部テストの活用と進路指導については充実していると一定の評価をされている。</li> <li>補講や進学講座については評価が割れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事等は楽しく、学校生活、も快適に送っている高い評価が出ている。</li> <li>部活動についても活発であるという評価を得ている。</li> <li>生徒と教員の人間関係については非常に高い評価を得ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業が分かりやすく展開され、学習活動している点は一定の評価を得ているが、教材や教え方のくふうについては厳しい評価となっている。</li> </ul>

アンケート相互関係（生徒・保護者・教員の評価の相違点）

評価者	生徒	保護者	教員
授業への取り組みと授業展開	B 39.8 %	B 51.6 %	C 48.3 %
マナー指導について	C 32.5%	B 51.6 %	B 48.3 %
進路情報の提供	B 42.6%	B 40.0%	B 63.3%
外部実力テスト利用	C 36.3%	B 41.9%	C 48.3%

4. 学校評価の現状と課題

	生徒	保護者	教員
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>マナーと挨拶については問題意識を自覚している生徒が過半数に達している。</li> <li>7割以上の生徒が学校の雰囲気と楽しい学校生活を送っているように読み取れる。</li> <li>学校行事充実し、楽しく協力し合っている生徒や部活動の活動も活発であると感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒と商大堺に入学させてよかったと思う方が圧倒的に多い。</li> <li>学校行事等が充実し、部活動も活発であるという評価も高い。</li> <li>子供は学校生活を楽しく送って、先生との関係もよいと感じている。</li> <li>校内の美化や施設についても高い評価をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が本校に入学したことを満足しているという評価が高く、家庭と学校の連絡が密になっていると考えている。</li> <li>進路情報を適切に提供し、適切なアドバイスを行っていると感じている。</li> <li>学校行事は楽しく協力しあい部活動は活発であると感じ、学校での生活が子供にとって快適であると評価している。</li> <li>校内美化についてはなされていよい環境である。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>建学の精神については理解しているものの、行動が伴っていない点が課題である。</li> <li>本校生はマナーと挨拶について問題意識を持っているのでその指導については課題である。</li> <li>進路に関する情報、アドバイスについて、より一層の取り組みが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材や教え方についての評価が厳しい評価となっている点や、進路希望に沿った補講等の充実が望まれていると思われる。</li> <li>校則や社会のルールについては一定の評価はされているが、半数近くは厳しい評価となっている。今後の課題である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育効果を高める研究がなされていないという厳しい評価である。</li> <li>生徒の授業に対する取り組みについて、熱心に取り組んでいないという評価が大多数である。</li> <li>施設全般については充実していないと評価している。</li> <li>外部テストの利用についての評価意見が分かれている。利用方法等の共通認識が望まれる。</li> </ul>

## 5. 平成20年度学校評価アンケートによる、まとめと課題

### (1) 建学の精神の「誠実」な生き方について

- ・「誠実」な生き方を理解しているものの実行が伴わないと感じている生徒が、過半数近くあり、具体的な指導を検討する必要がある。

### (2) 生活指導関係

- ・社会のルールやマナー、挨拶、校則について、問題意識を持って、守れていないと自覚している生徒が多く、今後、日々の生活の中でどのように指導するか、検討が必要である。

### (3) 進路指導関係

- ・進路に関する情報の提供とアドバイスについて、先生方との認識の差が大きい。また補習体制や進学講座等も不十分であると感じている生徒が、約半数近くあるが詳細な分析が必要である。
- ・外部テストの活用にも不十分である等の評価もあり、検討課題である。

### (4) 教務・授業関係

- ・授業の取り組みについて、先生方の評価非常に厳しいものがあり、授業態度から改善をする必要があるように考えられる。
- ・教材や教え方などについて、厳しい評価があり検討する必要がある。

## 6. 平成20年度 学校評価総論

学校評価の趣旨に沿い、各分掌・各委員会関係項目を評価の基本にし、本校の強み、弱み、改善点等を明らかにし、学校の説明責任を果たすために生徒・保護者・教職員を対象にアンケート作成しアンケート評価を実施いたしました。

総論的には、生徒・保護者・教職員ともに学校生活・学校行事等について満足度評価は高いと評価していることや、何でも相談できる面倒見のよいという信頼関係の評価は、本校の特筆すべき強みである。さらに、生徒アンケートでのマナーや挨拶、社会のルール等では自分たちの評価に厳しい評価をしている点は、次年度以降の指導の課題であろう。

また、相違点としては、保護者の教材や教え方の工夫について厳しい評価が寄せられ、生徒の厳しい評価としては、進路情報の提供や外部テストの利用に教員との思いに大きな開きがあり改善点である。

## 7. 次年度に向けて

1. 今年度に引き続き学校評価のアンケートの対象を広げ実施する。
2. 学校評価（情報）の公開についての方法と地域への情報提供する。